

コロナショック、 閉塞する社会と暮らしに癒しと希望を!



理事長 渡辺義人

新型コロナウイルス感染症は全世界に広がり、世界保健機関（WHO）は「パンデミック」（世界大流行）を表明しました。日本においても感染拡大は全国的で各自治体は外出自粛を要請し、感染爆発や都市封鎖が懸念されています。2020 東京オリンピックも 1 年延期に追い込まれるなか、当協会でもイベント自粛要請を受けて今年の春季展覧会の中止を決定しました。この会報が発行される頃には事態が好転し収束に向かっていることを願わずにられません。

コロナショックは好調が続けていた世界経済を急襲し、影響は甚大であらゆる産業や人々の暮らしを圧迫しています。その様な状況下でも市場での犬の販売は好調で豆柴は安定した販売実績を維持しています。しかし事態がさらに悪化し長期化する場合には当協会も深刻な影響を免れません。

休校でも外遊びもままならない子供たち。せっかくのゴールデンウィークにも関わらず、レジャーを控えざる得ない状況に、長引く自粛疲れのストレスからペットに癒しを求めて新しい家族として迎える家庭が増えていると推察されます。現代社会がいかにペットによる「癒し」を必要としているかのあらわれです。

当協会では愛犬家の家庭に、安全で安心の子犬を提供できるよう登録規定の改正を進めています。緊急事態の今を乗り切るため、会員・ブリーダーの皆さまには一致団結して当協会の担っている社会的使命をご理解いただき、ご協力のほど宜しくお願いします。

【お断り】

当協会は東京都の認証を受けている公益法人なので、コロナ感染予防の自粛要請については公益に資する観点からいち早く踏み切ることと致しました。

会員の皆様にはご不便ご迷惑をお掛け致しますが、ご理解ご了承のほどお願い申し上げます。尚、自粛解除の折には全力で申請の遅れに対処いたしますが、回復には 2~3 か月以上の期間が予想されます。

電話での問い合わせは血統書作成の手を止めてまいりますので対応できません。併せてご了承ください。